

布哇教育會編纂

日本語讀本

尋常科用

卷三

317.9
H45
1915 v.3

もくろく

一	天の岩戸	一	十九	布哇の島々	五十六	三十七	花賣	百十四
二	金色ノトビ	四	二十	ク、イ	五十八	三十八	かしこい子ども	百十八
三	舟あそび	六	二十一	葉書	六十	三十九	ばいなふる	百二十二
四	新井白石のべんきよう	八	二十二	瓜	六十五	四十	よいボーイ	百二十四
五	うる	十	二十三	カウモリ	六十八	四十一	織物	百二十八
六	水のたび (一)	十二	二十四	かのはなし	七十一	四十二	コトワザ	百三十一
七	水のたび (二)	十六	二十五	火	七十四	四十三	神功皇后	百三十三
八	カピオラニこうえん	十八	二十六	上杉鷹山	七十七	四十四	人のなまけ	百三十七
九	水ゾクカン	二十二	二十七	木をうる日	八十	四十五	熊	百四十一
十	草なきのつるぎ	二十六	二十八	シカノ水カミ	八十三	四十六	古づくゑ	百四十四
十一	コヒ	三十	二十九	いよどりごえのさかおとし (一)	八十六	四十七	港	百四十九
十二	母の手つだい	三十三	三十	いよどりごえのさかおとし (二)	九十	四十八	大阪	百五十二
十三	ボーイの目じるし	三十六	三十一	ほのるる	九十四	四十九	かぞへ歌	百五十五
十四	うめぼし	三十九	三十二	ホノルルからの手紙	九十八	五十	聖徳太子	百五十九
十五	茶トかぶ	四十一	三十三	えんそく	百一	五十一	ワシントン	百六十二
十六	孝行ナムスメ	四十七	三十四	太郎の日記	百五	五十二	火の始 (一)	百六十七
十七	どくりつさい	四十九	三十五	強い子ども	百八	五十三	火の始 (二)	百七十一
十八	波乗	五十二	三十六	宇治川のた、かひ	百十一	五十四	米	百七十五

尋三

天

一 天の岩戸

あまてらすおほみかみ

天照大神はお心のやさしい神さまでした。その弟にすさのをの神といふきのあらい神さまがあつて、いろくわるいいいたづらをなさいました。あねの大神は、いつもそれをがまんしていらつしやいました。ある時すさのをの神は、生きた馬の皮をはいで、その馬を大神のはたおりばへおなげ入れ

織。美。習。聞。肉。自。苗。茶。荷。葉。血。街。
表。裏。角。討。記。讀。谷。象。負。身。車。軍。
輕。近。送。通。造。進。道。遠。都。重。野。金。
銀。銅。開。間。飛。食。飲。首。黃。黑。
五。九。十。丈。下。中。今。今。年。代。代。兄。
出。分。別。前。勝。千。半。口。右。合。合。名。
君。問。國。園。外。夜。天。天。太。子。學。家。
實。少。岸。左。帆。平。平。度。弟。弟。子。形。
後。後。心。惡。教。日。時。月。木。木。本。東。

正。步。民。油。海。火。炭。物。生。用。町。病。
白。着。石。祝。種。立。羽。習。船。苦。行。行。
西。角。負。車。軍。進。重。金。間。間。間。食。
高。

熟語表

金色² 國中² 每年² 習字⁴ 年中⁵ 海岸⁸ 土用¹⁴ 一番¹¹
茶¹⁵ 谷々¹⁵ 孝行¹⁶ 祝日¹⁷ 島國¹⁸ 半日¹⁸ 平氣¹⁸ 島々¹⁹
勝負²³ 身分²⁶ 人民²⁶ 弟子²⁶ 苗木²⁷ 谷川²⁸ 何千本²⁹ 二¹¹
手²⁹ 四足³⁰ 手本³⁰ 木造³¹ 人口³² 人種³² 國々³² 天氣³³
時分³³ 時間³³ 半分³³ 日記³⁴ 三日月³⁴ 武士³⁶ 目方³⁸ 大¹¹

敵⁴² 大海⁴² 學問⁴³ 野中道⁴⁴ 赤茶色⁴⁵ 今年⁴⁶ 十人十色⁴⁶
 出帆⁴⁷ 左手⁴⁷ 商業地⁴⁸ 市中⁴⁸ 十分⁵⁰ 進步⁵⁰ 出立⁵¹ 安^{||}
 心⁵³ 火花⁵³ 米商人⁵⁴ 家々⁵⁴

大正六年二月二十五日印刷
 大正六年二月二十八日發行

尋常科用卷三
 定價金

編纂者 布哇教育會
 發行所 伏見宮記念獎學會
 版權所有者

代表者 內田重吉

印刷者 井上源之丞

印刷所 東京市本所區番場町四番地
 凸版印刷株式會社本所分工場